

令和5年8月3日

裾野市長 村田 悠 様

裾野市議会 会派 未来すその



浅田基行・杉山茂規・井出 悟

中村純也・賀茂博美・大橋勝彦

令和4年度5年度に発生した市政運営に関する事案等に対する取り組み要望

令和4年度に発生した裾野市民文化センター大ホールスプリンクラー誤作動事案、市内私立保育園での不適切保育事案、本年度発生した公立保育園の不適切保育事案は、いずれも市民等を巻き込んだ事案であり、メディアにも大きく取り上げられ市民はもとより広く人々に知られ、少なからず裾野市のイメージを停滞させる状況となっている。個々の事案に対する思いは様々であるが、多くの市民からは早期に各事案の解決や市政の信頼回復を求める思いが寄せられている。

現在行政組織において様々対策を進めていることは承知しているが、それらの動きを市民はメディア報道や噂から知ることが多く不安解消に至っていない状況にある。市からの発信を更に強化し、対応の状況や計画などを市民に伝える努力が必要である。

また、現対応は所管する部署にゆだねている傾向が見て取れるが、市長が掲げる「日本一市民目線」に遠く及ばず、「庁内目線」のように感じる。老朽化が進む施設管理の方法や全ての年代に寄り添った人権意識の確保といった課題は、市政運営全体に関わる事柄であることを意識し、組織全体で共有し対策の横展開を行うことが必要である。

会派未来すそのは、中立な立場で市民福祉向上を一番に考えた市政運営が進められるようこれら事案の対応・対策を注視している。

対応が続いている事案において情報共有、情報発信を強化し、乳幼児から高齢者まですべての市民が安心して享受できる行政サービスの在り方を意識し、全職員が一丸となって市政の信頼回復、市民の不安解消に真摯に取り組むことを要望する。

以上